

# 堺市総合防災センター誕生!

子どもから大人まで楽しく学び、災害にしっかり備える、堺市初の体験型防災学習施設が美原区に完成します。いつ起こるか分からない大規模災害発生時には、堺地域の防災拠点にもなる西日本有数の命を守るための施設です。

4/15(金) グランドオープン!



防災センターの主な3つの機能って?

一般の方が実体験で災害を自分ごととして学べる施設の他、消防職団員の訓練施設、支援物資の配送拠点の機能を備えています。



## 堺市総合防災センター

美原区阿弥129番地4

◎営業 9時～17時15分  
 ◎休館日 月曜日(祝休日の場合翌日)、第3火曜日、12月29日～1月3日 ※臨時休館あり  
 ◎入館料 無料(体験コースは予約優先、1人から参加可)  
 ※3月31日までの窓口は、消防局総務課防災センター開設準備担当 ☎238-6002(9時～17時30分/土・日曜日、祝休日は休み)



※撮影時のみマスクを外しています

### 機能1

#### リアルを学ぶ「真・体験コース」(約1時間30分)

「真・体験」の「真」の文字には、「真に必要な知識・技術を習得してほしい」という意味が込められています。さまざまな体験や映像・パネル展示を通じて、堺で予想される地震や津波など、いつ起こるか分からない災害の実態を紹介しています。

#### 1 まずは映像で学習

#### もしも災害が起こったら?

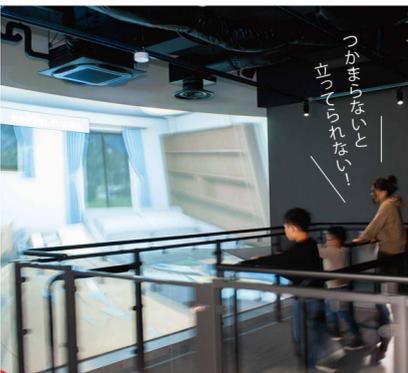
阪神・淡路大震災では、死者数の8割以上が倒壊した建物や家具による圧死でした。また、倒壊家屋から救助された方のほとんどは、家族や近隣住民によるものでした。過去の災害を教訓に対策方法を学びます。



#### 2 地震体験

#### 突然の震度7! どうすればいい?

地震に遭遇する映像を見ながら、震度7の地震の揺れを体験。地震対策をした場合としない場合の被害の差や、とっさの避難判断で変わる運命など、普段からの意識と備えの大切さを実感できます。



#### 3 煙・暗闇避難体験

#### 煙に包まれてしまった! 怖い煙の注意点は?

火災で発生した黒く濃い煙は一息吸っただけで意識を失うこともあります。避難では煙を吸わないようハンカチや手で口をふさぎます。暗闇では壁を伝いながら誘導灯をめがけて進みます。



煙は絶対に吸わないよう低くかがんで逃げよう!

体験者の様子を外から見て、避難姿勢を学べる工夫も!

#### 4 消火体験

#### 最大1.5mの火柱! 自分で消火できる?

消火器での消火活動を実際の炎で行います。使い方は、①黄色のピンを抜く②ホースの先端を持って構える③レバーを握って放射の3ステップ。熱くない場所から炎ではなく、燃えているものを狙い、ほうきで掃くように消火するのがコツです。

屋外で使う場合は風上から狙おう!



#### 5 応急救護体験

#### 意識の無い人やけが人の救護のポイントは?

一刻を争う救命には協力が大切! 意識が無ければ「119番通報」「AEDの準備」「心肺蘇生」の役割分担を。人形を使って体験します。



#### 6 防災情報コーナー

#### クイズ形式で災害を学ぼう

災害と対策方法を本型の展示パネルで紹介。「ナゾトキシート」を解きながら、防災力を身につけます。津波の恐れのある区域は阪和線より東へ逃げれば安心など、堺ならではの防災対策に必要な知識が詰まっています。119番通報の体験もできます。



#### 体験してみて

#### リアルな体験をとおして防災の大切さを実感!

煙の体験が衝撃でした。低姿勢で進みましたが、体験用に付けられた煙の甘いにおいがして逃げ遅れたんだと…。地震体験では、事前にできることがたくさんあると知り、今から備えなければ痛感しました。



「真・体験コース」に参加した井上さんご家族

#### 「真・体験コース」

予約受付を開始!  
2月から 市内在住、在勤・在学の方  
3月から 市外を含む一般の方

施設情報・予約方法は  
こちらから



#### 消防局から

#### いざという時大切な命を守るために

大人も子どもも興味を持ってもらえる工夫を随所に設けています。今後体験コースを増やしますので、定期的に訪れて防災対策を見直してください。知識を



消防局総務課 石山雅浩

消防局総務課 (☎238-6002 FAX223-1979)

堺には特殊災害に対応する特別高度救助隊「フェニックスレスキュー」がいるから安心!



### 機能2

#### 消防士が日本随一の訓練を

倒壊建物での都市型捜索救助など、厳しい状況を想定した全国トップレベルの訓練を実施。日々の鍛錬で安全を守ります。

見学もできる!



### 機能3

#### 大規模災害時には支援物資の配送拠点に

延べ面積約1500㎡の巨大な備蓄倉庫では、大規模災害発生時、市内の各避難所へ水・食料・毛布などを配送する拠点となります。



子どもが喜ぶイベントはあるかしら?



他にも体験が充実! 夏休みにはイベントも予定

70ℓのゴミ袋をハサミで切って結ぶだけで完成する、レインコート作りに挑戦しました! 夏休みなどには、防災に関する子ども向けのイベントを開催予定です。

消防車の実物展示をはじめ、イベントやプレゼントも。楽しみながら学んでいただけます



活躍した消防車を展示 記念撮影もできる!

約15年間市内で活躍していた消防ポンプ自動車を展示。運転席に乗り込むことができます。消防士が着る防火服の子どもサイズを用意しており、消防車と一緒に撮影できます。